

農道整備事業/生産基盤整備

整備前



整備後



農道整備って？

農道の整備は、農業を支える生産基盤として農地への通作条件の改善や農産物の合理的な輸送体系を確立するとともに、中山間地域が大半を占める本県では、農村地域の生活環境改善や地域の活性化を目的に実施します。また、過去に整備した農道の老朽化や大規模地震に対応するため、更新整備や耐震化整備を行っています。

事業の内容

広域農道：広域営農団地内の農道網の基幹となる農道であり、広域営農団地整備計画に基づき整備します。

基幹農道：農業を振興すべき地域において基幹となる農道であり、ほ場と農業施設、幹線道路等を連絡する輸送路を整備します。

一般農道：ほ場と生産者、基幹的農道等を連絡する輸送路を整備します。

農道保全：老朽化により機能低下した施設の更新整備、耐震化等の整備水準の向上を図る保全対策を行います。

事業の効果

農産物流通の合理化

農産物の輸送時間・距離が低減されます。
輸送手段の大型化が可能になります。

農村地域の交通条件改善

通勤、通学など交通の利便性が向上します。
救急、消防等の暮らしの安全性が向上します。

高生産性農業の促進

農産物の品質向上

農村地域の活性化

